

ひだまりキッズ ユーカリが丘

2019 年度 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	未 回 答	改善目標、工夫している点など
環 境 ・ 体 制 整 備	①	利用定員が始動訓練室等スペースとの関係は適切であるか	○			定員 5 名に対する基準値以上のスペースを設けている
	②	職員の配置数は適切であるか	○			常時4名～5名の職員を配置、看護師やPTも常駐
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			全てのフロアに段差が無く、バリアフリーとなっている
業 務 改 善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			9 月からは職員間のミーティングを増やしており、PDCA サイクルに基づいたサービス提供をしている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表はもちろん、SNS や個別の連絡により、随時業務改善につなげている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上での公開をしている
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			同業他社や福祉系の第三者との意見交換により、業務改善につなげている
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			参加できる研修は率先して参加させる機会を設けている
適 切 な 支 援	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用開始時、適時保護者面談やヒアリングを行い、定期的に個別支援計画書の見直しをしている
	⑩	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	標準化されたアセスメントツールの利用も検討
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			全てのスタッフにて情報・意見交換をし、最適なプログラムを立案している

の 提 供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		新しい活動やプログラム、イベント等をいつも考え話し合って具現化する
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		曜日と言うか滞在できる時間の長さで、最適な課題であったりレクやリハビリであったりを実践している
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		保護者や子供たちの可能な事に寄り添い、目標を設定し、それ基に個別支援計画を実施している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		出勤後すぐの朝礼時に、当日の支援の打合せをおこない、内容や担当分けといった対応をしている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		送迎終了後に、1日の振り返りを職員全員で実施している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		個別の記録を取り、1ヶ月単位でのPDCAサイクルを使用して、適切な課題を作成している
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的(または随時)保護者との話し合いをおこない、目標や要望を伺った上で内容の見直しを実施している
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		安全に配慮して活動を行っている
関 係 機 関 や 保 護	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		管理者または児発管が参画している
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		特記事項や諸連絡は常に連携しているが、今後は学校行事等の情報も共有し綿密な情報共有をしていく
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連	○		現在もほとんどが医療ケア児を受け入れており、保護者経由で主治医との

者 と の 連 携		絡体制を整えているか			連携体制を取っている
	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	保護者を通しての情報共有に留まっている
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	事例はまだ無いが、卒業生に対しては支援内容の情報提供等も適時行っていく
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	専門性を向上させる為、今後は研修等を通じて助言を受けたい
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	重症児メインなので、児童クラブや児童館での他の子供とのコミュニケーションは難しいが、地域の集まりの中でのコミュニケーションは実施予定
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	地域自立支援協会との関連が無く、今後機会あれば率先して参画したい
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		個別での連絡を取り合い、常時情報共有が出来る体制を整えています
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	今後研修を通じて持ち帰った物を、報告会的な機会を設け行っていきたい
	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時、重要事項説明書を読み合わせ説明をおこなっている。また必要に応じて随時説明を行う
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○	事例はないが、保護者からの相談事はどんな細かい事でも職員間で話し合い支援を行う
㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		サポメンの会や地域の母の会などと連携し、保護者同士も連携できるように努めている	

保護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情受付時に職員全員で原因を分析し、改善と今後の防止策を考え迅速に対応している
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月1回お便りを発行している。またSNS等での活動報告も実施している
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報記載物に関しては鍵付きのロッカーに保管している
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		当然に配慮している
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域との連携は進めており、おやつ作りやパーティを通じて今後も地域に開いた事業所にしたい
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	各種マニュアルは策定し、事業所に設置しているが、保護者への周知には至っていない
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		サービス提供前、職員間での避難訓練は実施している(最低年2回)
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		県が実施する虐待防止研修への参加を2名確定している
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		重症児ケアがメインの為、身体拘束の必要が無い為にサービス計画への記載はない
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アレルギーに関して、主治医の指示所や保護者の要望に応え実施している
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		利用者別のヒヤリハットを記録することになっているが、未だ事例は無し